

平成28年度 国営土地改良事業再評価公表地区一覧

資料4 参考資料

地区名	地区概要	関係団体の意向	評価項目のまとめ	B/C	技術検討会の意見(委員長素案)
<p>国営かんがい排水事業 道央用水地区 (江別市、恵庭市、北広島市、千歳市、夕張市、岩見沢市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町、安平町)</p>	<p>【事業費】 146,002百万円(平成27年度時点) 【事業期間】 平成7年度～平成30年度 (機能監視:平成31年度～平成33年度) (第1回計画変更:平成16年度) 【受益面積】 29,010ha(田:27,058ha、畑:1,952ha) 【受益者数】 3,252人 【主要工事】 ダム 2箇所(新設1箇所、改修1箇所) 頭首工 4箇所(新設1箇所、改修3箇所) 揚水機 6箇所(新設2箇所、改修4箇所) 用水路 10.2km(新設) 【主要工事 進捗率】 約96%(平成27年度時点) 【関連事業 進捗率】 約86%(平成27年度時点)</p>	<p>北海道は、本事業の効果が十分発現されるよう、早期完了を目指す必要があるとしている。 関係市町村及び関係土地改良区は、地域農業の発展と農業経営の安定を図るためには、本事業は必要であり、そのため事業費の確保は重要なものだと認識している。今後も更なる経費の節減や低コスト化等効率的な施工によりコスト縮減を望んでいる。 また夕張シューパロダムが供用され、安定した用水が確保されているが、廃止予定施設も老朽化により維持費も多くなっている。このため、水管理の合理化や農作業の効率化など事業効果の発現のため、完了予定年度に向け残事業を着実に推進し早期完了を望んでいるとともに、関連事業についても事業の促進を望んでいる。</p>	<p>本地域では、農家戸数や経営耕地面積は減少しているが、主業農家の割合や1戸当たり平均経営耕地面積は増加している。また、水稲、畑作物、かぼちゃやメロン等の野菜、花きなど多様な作物が生産され、基幹作物である水稲については、品質の向上や農作業の省力化を図ることとしており、土地利用型作物、野菜、花きについては、地域特性に応じた作物の産地強化を図ることとしている。 本事業は、不足する用水を新たに確保し、用水施設の整備や統廃合を行うとともに、その他末端用水施設やほ場整備を行うことで、土地生産性の向上、農作業の効率化、水管理の合理化を図り、農業経営の安定を図ることを目的として実施している。 事業の進捗については、平成7年度より基幹水利施設の整備を進めており、平成27年度より夕張シューパロダムの供用を開始するなど、一部地域において事業効果が発現し、平成27年度迄の進捗率は約96%となっている。また、現時点において事業計画の重要な部分の変更はない。 環境との調和への配慮及びコスト縮減に努めつつ進捗を図っている。 関係団体からは、今後ともコスト縮減に努め、早期に事業完了することが求められている。</p>	<p>1.06</p>	<p>節水の解消や良食味米の安定生産のためには、代かき期間短縮への対応や深水かんがい用水の確保が必要であると認められる。また、畑地かんがい用水の安定供給が求められている。 夕張シューパロダムが平成27年度より供用開始されていることから、所期の効果発現のため、関係機関と連携して残事業にかかる工事を進められたい。 現計画の総事業費に対して現時点の総事業費が増嵩していることから、事業費の動向を把握しつつ、一層のコスト縮減に努められたい。 ダム湖岸の植樹については、湛水後の生育状況モニタリング調査による効果の検証が望まれる。</p>
<p>国営かんがい排水事業 篠津中央二期地区 (江別市、当別町、新篠津村、月形町)</p>	<p>【事業費】 52,580百万円(平成27年度時点) 【事業期間】 平成7年度～平成29年度 (機能監視:平成30年度～平成32年度) (第1回計画変更 平成16年度) 【受益面積】 7,460ha(田:7,460ha) 【受益者数】 726人 【主要工事】 頭首工 1箇所(改修) 【主要工事 進捗率】 約91%(平成27年度時点) 【関連事業 進捗率】 約97%(平成27年度時点)</p>	<p>北海道は、本事業の効果が十分発現されるよう、早期完了を目指す必要があるとしている。 石狩川頭首工の供用開始に伴い安定した用水が確保されたことから、関係市町村及び関係土地改良区は、今後は、水管理の省力化、地下かんがいの導入を推進し、良食味米の生産とブランド化を進め、水稲を主体とした地域農業の持続的発展に取り組むこととしている。また、工事費を縮減しつつ、工事計画に基づき早期完了を望んでいる。</p>	<p>本地域では、農家戸数や経営耕地面積は減少しているが、主業農家の割合や1戸当たり平均経営耕地面積は増加している。また、水稲、畑作物、ブロッコリーやかぼちゃ等の野菜、花きなど、多様な作物が生産され、良食味・高品質米の生産地として、生産の安定化と品質・食味の向上を図ることとしており、また、地域農産物のブランド化に向け、野菜や花きの生産拡大や高品質化、安定生産を図ることとしている。 本事業は、老朽化した施設の整備により長期的な安定取水を確保するとともに、末端用水施設やほ場整備を行うことで、土地生産性の向上、水管理の合理化、農作業の効率化を図り、農業経営の安定を図ることを目的として実施している。 事業の進捗については、平成7年度より石狩川頭首工の整備を進め、平成26年度より供用を開始し、事業効果が発現しており、平成27年度迄の進捗率は約91%となっている。また、現時点において事業計画の重要な部分の変更はない。 環境との調和への配慮及びコスト縮減に努めつつ進捗を図っている。 関係団体からは、今後ともコスト縮減に努め、早期に事業完了することが求められている。</p>	<p>1.24</p>	<p>地域が推進する良食味米や収益性の高い野菜等の安定生産のためには、かんがい用水の安定的な確保が必要であると認められる。 石狩川頭首工が平成26年度より供用開始されていることから、所期の効果発現のため、関係機関と連携して関連事業を推進されたい。 頭首工に設置された魚道については、築造後の魚類遡上を確認しているが、今後のモニタリング調査による効果の検証が望まれる。</p>
<p>国営かんがい排水事業 勇払東部地区 (厚真町、むかわ町)</p>	<p>【事業費】 48,781百万円(平成27年度時点) 【事業期間】 平成13年度～平成31年度 (機能監視:平成32年度～平成34年度) (第1回計画変更:平成27年度) 【受益面積】 3,224ha(水田:2,866ha、畑:358ha) 【受益者数】 404人 【主要工事】 ダム 1箇所(改修) 頭首工 1箇所(新設) 揚水機 2箇所(新設1箇所、改修1箇所) 用水路 82.1km(新設、改修) 排水路 8.8km(改修) 【主要工事 進捗率】 約67%(平成27年度時点) 【関連事業 進捗率】 約70%(平成27年度時点)</p>	<p>北海道は、本事業の効果が十分発現されるよう、早期完了を目指す必要があるとしている。 関係町及び関係土地改良区は、町財政が厳しい状況となっているなか、事業完成は最優先であるが、地元負担金が過度に増大とならないよう、より一層のコスト縮減を望んでいる。また、本地域は恒常的な用水不足であり、農業用水施設の老朽化も著しいため、本事業と併せて関連事業による生産基盤の整備を一体的に進めることで、用水が確保され農業経営の安定化が図られることから、計画工期内での早期完成を望んでいる。</p>	<p>本地域では、農家戸数や経営耕地面積は減少しているが、1戸当たり平均経営耕地面積は増加している。また、水稲、畑作物、ブロッコリーやかぼちゃなどの野菜が生産され、基幹作物である水稲については、地域ブランド「たんとうまい」を核として、収量や品質の高位平準化を目指すこととしており、土地利用型作物や野菜については、安定生産や品質向上を図ることとしている。 本事業は、不足する用水を厚幌ダムに依存し、用水施設の整備や統廃合、排水路の整備を行うとともに、その他末端用水施設やほ場整備を行うことで、土地生産性の向上、水管理の合理化、農作業の効率化を図り、農業経営の安定を図ることを目的として実施している。 事業の進捗については、平成13年度より基幹水利施設の整備を進めており、平成19年度より美里頭首工の供用を開始するなど、一部地域において事業効果が発現し、平成27年度迄の進捗率は約67%となっている。また、現時点において事業計画の重要な部分の変更はない。 環境との調和への配慮及びコスト縮減に努めつつ進捗を図っている。 関係団体からは、関連事業とも連携を図り、今後ともコスト縮減に努め、早期に事業完了することが求められている。</p>	<p>1.05</p>	<p>良食味米の安定生産のためには、近年の営農に対応した用水の確保や施設管理の合理化が必要であると認められる。 美里頭首工が平成19年度より一部供用されているが、所期の効果発現の観点から、関係機関と連携して事業を進められたい。また残工事については、引き続きコスト縮減に努められたい。 農業用水が有する地域用水機能の増進を図るとともに、美里頭首工に設置された魚道については、モニタリング調査による効果の検証が望まれる。</p>